



輸送サービス労組  
苦悩する仲間のために、私たちは立ち上がる

## 緊急申し入れを提出！

2022年4月20日

八地申第24号



### 非情&悪辣な人事異動

#### TAKAO STATION MAIL NEWS

JR東日本輸送サービス労働組合 八王子地本  
JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION/LOCAL 81

「ハンデ(障がい)のある社員に対するやじがたい排拒(パワハラ)は許せない！」

「現場長(障がい)のある社員に対するやじがたい排拒(パワハラ)は許せない！」

事情を踏まえ、現場長や管理者で取り囲み「努力しろ」と一蹴



JTSU-E八地申第24号  
2022年4月20日

東日本旅客鉄道株式会社八王子支社  
支社長 内田 英志殿

JR東日本輸送サービス労働組合  
八王子地方本部  
執行委員長 仲澤

「変革2027」の理念である「『ヒト』を起点とした「信頼」と「豊かさ」の創造」に逆行した障がい者への合理的配慮を欠いた差別・ハラスメントの是正を求める緊急申し入れ

2022年3月、身体にハンデを抱えている組合員に対して、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づく合理的配慮を欠いたハラスメント行為が行われました。組合員は、希望箇所以外への異動を通知した現場長に対して「聴覚にハンデがある中で窓口業務を担っていましたが、飛散防止シートやマスク等によりお客さまの声が聞き取りづらく、集音マイクを使っても聞き取りづらく接客が難しい」「非現業への異動を希望している」と自身のハンデと向き合いながら会社業務の遂行に苦悶を示してきました。

べきところ、ハンデがあることを悲観するような労働環境では企業としての社会的責任の放棄であり、人格をも否定したパワハラ発言は到底許されるものではありません。企業

- 記
1. ハンデを抱えた社員に対する合理的配慮に欠けたハラスメントを行った責任の所在を明らかにするとともにハラスメント行為を直ちに是正すること。
  2. 障がいやハンデ等によって働き方に制限を設けず、社員一人ひとりが「働きがい」「生きがい」を実感できる職場環境・労働条件を再構築すること。
- 以上

「変革2027」の理念である「『ヒト』を起点とした「信頼」と「豊かさ」創造」に逆行した障がい者への合理的配慮を欠いた差別・ハラスメントの是正を求める緊急申し入れ

三多摩支部管内の職場から上がった声に、輸送サービス労組は苦悩する仲間の怒りを受けて立ち上がる――聞いた組合員は皆戦慄を覚える程のパワハラと非情で悪辣な人事異動はもはや現代企業、ましてリーディングカンパニーを標榜する会社としてあるまじき対応だ。この一連の対応を受け、八王子地本は上の通り緊急申し入れをJR東日本八王子支社に提出した。

「コトが起きてからでは遅い」とコンプライアンス教育を繰り返してもなお起きている現実に対し、その責任は個人で負えるようなものではないだろう。この交渉の経過に全ての仲間が注目しているぞ。

会社は起きている現実から目を背けず組織として向き合い、責任ある誠実な回答を！